

『今日の課題』

- 安全・安心・安定した学校づくり（感染症対策の継続）
- 社会に開かれた教育課程、地域と共にある学校の推進
- 特別支援教育の充実（合理的配慮と確かな学力）
- いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応
- 教職員の働き方の見直し、継続保持の取り組み

＜学校教育目標＞

白 森の国おぐにを愛し、進んで学び、心豊かで、
たくましくおぐにっ子の育成

＜めざす子ども像＞

なかく、かしこく、さわやかおぐにっ子

- (1) 進んで考え、ともに学び合う子ども（知）
- (2) 思いやりの心もち、自他を愛する子ども（徳）
- (3) 心身ともに健康で、粘り強くやりぬく子ども（体）
- (4) 郷土を愛し、町や地域を元気にしようとする子ども（郷土愛）

＜めざす学校像＞

わくわくしながら挑戦する小国小学校

- (1) 明るいあいさつと歌声が響く、元気な学校
- (2) 互いを尊重する思いやりのある学校
- (3) 伸び伸びと生活できる、安全で安心な学校
- (4) 家庭・地域と連携・協働する、地域とともにある学校

＜めざす教師像＞

子どもとともに学び続け、信頼される教師

- (1) 学習指導力・生徒指導力・特別支援教育力・情報活用能力を高め、力を惜しまない教師
- (2) 常に子どもに寄り添い、思いに共感・共有できる教師
- (3) 子どもが安心・安全であることを第一に考え、かけがえのない「いのち」を大切にできる教師
- (4) 家庭・地域との連携・協働を図り、互いに高め合う教師

国の動き

- ◆社会に開かれた教育課程の実現・・・「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」
- ◆カリキュラム・マネジメントの実現

○主体的・対話的で深い学びの推進 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

山形県の動き

第7次山形県教育振興計画（令和7年度から概ね10年間）

- 目標：ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現に担う山形の人づくり
- 学校教育の指針：子どもも大人も、ともに学び合える喜びを感じるような一日、一日をつくる～誰一人取り残さない教育の実現～

小国町の動き

ねらい：人間力と郷土の明日を切り拓く創造性に満ちあふれた児童生徒の育成

- 「白 森おぐに保小中高一貫教育」の推進（令和元年度より本格実施）
 - ・「国際」「情報」「白 森学習」「キャリア教育」「特別支援教育」の5推進部会
 - ・「保・小」、「小・中」、「中・高」、「水小・小国小」連携委員会
- 小国小学校学校運営協議会（コミュニティ・スクール）・合同運営協議会の開催、地域学校協働本部
- カリキュラム・マネジメント研修、ICT教育（兼）プログラミング研修、特別支援教育研修と巡回相談 他

学校経営方針

「わくわく挑戦～『きめる・みとおす・さいごまで』『みとめ合い・かたり合い・たかめ合い』～」を合言葉に一人ひとりが幸せになる力を育む。

- 1 社会に開かれた教育課程の編成に一層努めるとともに、家庭・地域との連携・協働を推進して教育活動の充実を図り、地域とともにある学校をめざす。
- 2 「白 森おぐに保小中高一貫教育」の理解を深め、さらなる充実をめざして連携を推進し、系統性と連続性を重視した教育活動を展開する。
- 3 「子どもを主語にした授業づくりを通じた確かな学力の育成」「自己指導能力の育成」「健やかな心と体の育成」を中核に、知徳体の調和の取れた教育活動を推進する。
- 4 「いのちの教育」を教育活動の基盤とし、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努め、全校体制で指導にあたる。
- 5 「働き方改革」についての意識を一層高めて実行し、元気で働きがいのある職場づくりに努めるとともに、職務・服務に係る継続保持を徹底する。

学校経営の重点

『小国町の未来を担う心身ともに健康なおぐにっ子の育成』

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し、子どもを主語にした授業づくりを通して確かな学力を育成する

生徒指導の4つの視点大切に「積極的な生徒指導」に努め、自己指導能力を育成する

体育的活動と「いのちの教育」の深化・拡充を図り、健やかな心と体を育成する

国際・情報教育と白 森学習の充実を図るとともに、郷土を愛し大切に心をつ育てる

学校研究テーマ『進んで考え、ともに学び合う子どもを育成する授業』～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して～

～小国町保小中高一貫教育、地域とともにある学校づくりの推進～

